

製品名: TAL1/2 (アセチル Lys221/アセチル Lys222/アセチル Lys36/アセチル Lys37) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab06260

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	アセチル化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	45kDa

抗原情報

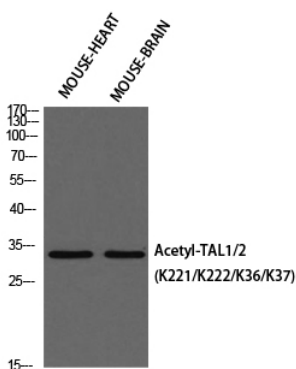
遺伝子名	TAL1/TAL2
別名	TAL1; BHLHA17; SCL; TCL5; T-cell acute lymphocytic leukemia protein 1; TAL-1; Class A basic helix-loop-helix protein 17; bHLHa17; Stem cell protein; T-cell leukemia/lymphoma protein 5; TAL2; BHLHA19; T-cell acute lymphocytic leukemia protein 2; TAL-2; Class A basic helix-loop-helix protein 19; bHLHa19
遺伝子 ID	6886.0
SwissProt ID	P17542
免疫原	K221 のアセチル化部位の周囲にあるヒト TAL1/2 由来の合成アセチルペプチド。

背景

代替製品:スプライシングパターンは細胞系統依存的である,疾患:TAL1が関与する染色体異常は、一部のT細胞急性リンパ芽球性白血病(T-ALL)の原因である可能性がある。T細胞受容体α鎖(TCRA)遺伝子の転座t(1;14)(p32;q11)。,ドメイン:ヘリックス-ループ-ヘリックスドメインは、DRG1との相互作用に必要かつ十分である。,機能:造血器悪性腫瘍の発生に関与する。造血分化において重要な役割を果たす可能性がある。赤血球分化の正の調節因子として機能する。 ,PTM:セリン残基がリン酸化される。Ser-122のリン酸化は低酸素によって強く刺激される。 ,PTM:ユビキチン化;低酸素依存性のSer-122リン酸化に続いて、ユビキチン化によりタンパク質はユビキチンシステムを介して急速に分解される。このプロセスは大血管内皮細胞では観察されなかったため、微小血管内皮細胞に特徴的なものである可能性がある。 ,類似性:1つの塩基性ヘリックス・ループ・ヘリックス(bHLH)ドメインを含む。 ,サブユニット:効率的なDNA結合には、別のbHLHタンパク質との二量体形成が必要である。TCF3とヘテロ二量体を形成する。LIMドメインを含むタンパク質LMO2およびDRG1に結合する。LDB1およびLMO2と複合体を形成できる。少なくともCBFA2T3、LDB1、TAL1、およびTCF3から構成されるTAL-1複合体の構成要素。 ,組織特異性:白血病幹細胞。 ,代替産物:スプライシングパターンは細胞系統依存的である。 ,疾患: TAL1に関連する染色体異常は、一部のT細胞急性リンパ芽球性白血病(T-ALL)の原因となる可能性がある。T細胞受容体α鎖(TCRA)遺伝子との転座は、t(1;14)(p32;q11)である。 ,ドメイン:ヘリックス-ループ-ヘリックスドメインは、DRG1との相互作用に必要かつ十分である。 ,機能:造血悪性腫瘍の発生に関与する。造血分化において重要な役割を果たす可能性がある。赤血球分化の正の調節因子として機能する。 ,PTM:セリン残基がリン酸化されている。Ser-122のリン酸化は低酸素状態によって強く刺激される。 ,PTM:ユビキチン化。低酸素依存的にSer-122がリン酸化されると、ユビキチン化によりタンパク質はユビキチンシステムを介して急速に分解される。このプロセスは大血管内皮細胞では観察されなかったため、微小血管内皮細胞に特徴的なものである可能性がある。 ,類似性:1つの基本ヘリックス・ループ・ヘリックス(bHLH)ドメインを含む。 ,サブユニット:効率的なDNA結合には、別のbHLHタンパク質との二量体形成が必要である。TCF3とヘテロ二量体を形成する。LIMドメインを含むタンパク質LMO2およびDRG1に結合する。LDB1およびLMO2と複合体を形成できる。少なくともCBFA2T3、LDB1、TAL1、およびTCF3からなるTAL-1複合体の構成要素である。 ,組織特異性:白血病幹細胞。 ,

研究分野

画像データ



アセチル TAL1/2 (K221/K222/K36/K37) 抗体を用いたマウス心臓およびマウス脳のウェスタンブロット解析。抗体は1:500に希釈した。二次抗体は1:20000に希釈した。